

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 月 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		中九州地域高規格道路推進期成会参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	都市建設部	課長名 上原哲也					
	施策	5	道路ネットワークの充実			所属課	建設課	担当者名 辻 健一					
	基本事業	13	計画的な道路の整備			所属班	管理計画班	(内線) 2272					
予算科目	会計	1	款	8	項	1	目	1	事業連番	10069	法令根拠	成果優先度評価結果	12
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)		コスト削減優先度評価結果	6						

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	大分熊本間の中九州地域は、豊かな農林資源や観光資源に恵まれていながら、地域発展に必要な社会資本の整備が遅れているため事業の促進を図るため期成会を設立し、要望活動を実施。 大分市から熊本市を結ぶ中九州地域は、豊かな農林資源や観光資源に恵まれているが、地域発展に必要な社会資本の整備が遅れていることから、大分県と熊本県側合同及び両県それぞれの期成会を平成5年2月に設立。阿蘇市他11市町加入。大分県側大飼千歳道路4.3kmが平成18年度。千歳大野道路8.7kmが平成19年度に供用開始。阿蘇大津道路5.3kmが水文調査、平成12年12月から大津町熊本市間が調査区間指定を受けている。 しかし、公共事業の削減により、整備時期が不透明となっている。
【業務の流れ】	幹事会、総会への出席。国、県、県選出国会議員への陳情。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金として負担している
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	熊本市側からの同時着工の推進する上で企業の役割が重要になっている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
幹事会、総会への出席しました。 国県に対し要望活動を行いました。	幹事会に出席。 総会に出席。 要望活動。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	④活動指標(単位)
⇒ ア 幹事会への出席 回	イ 総会への出席 回
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
熊本市から大分市を結ぶ地域高規格道路	⇒ ア 整備延長 km
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
計画路線の調査区間から整備区間への格上げと早期完成を求める	⇒ ア 国県への要望回数 回
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	回	1	1	1	1	1		
	イ	回							
⑤ 対象指標	ア	km	1	1	1	1	1		
	イ								
⑥ 成果指標	ア	回	1	1	1	1	1		
	イ								
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	95	95	95	95	95		
	(A) 事業費計	千円	95	95	95	95	95	0	0
(A)のうち指定経費	千円								
(A)のうち時間外、特勤	千円								
人件費	正規職員従事人数	人	18	5	5	5	5		
	延べ業務時間	時間	150	156	100	180	100		
	(B)人件費計	千円	596	624	398	716	398	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	691	719	493	811	493	0	0

総トータルコスト
 全体計画
 ~ 年度
 (期間限定複数年度のみ記載)
 0

事務事業名	中九州地域高規格道路推進期成会参画事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	---------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 現在調査区間の大津町～熊本市間を九州縦貫自動車道北熊本SAへ誘導することにより、新市建設計画で謳われ、現在熊本市・植木町と共同で勉強会を行っているスマートICの整備も含めて物流、観光拠点としての地域の発展が見込まれる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 期成会の一員として会費負担割合が定められており適当である。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 都市間を結ぶ地域高規格道路整備の要望であり、安心・安全・快適性・迅速性の確保を図るもので公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷ 会員が関係市町村であり移行はできない。

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
<p>(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																							